

【治療薬ハンドブック 2015 ー薬剤選択と処方のポイントー】 訂正のお知らせ

2015年4月1日

ご購入いただきました【治療薬ハンドブック 2015ー薬剤選択と処方のポイントー】(2015年1月15日発行)におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

付録カード「漢方薬 安全使用のための一覧」

「19 小青龍湯」,「401 甘草湯」,「05 芍薬甘草附子湯」 警告・禁忌欄

1 頁目

漢方薬 安全使用のための一覧

作成：阿部和史（東京都立府中療育センター 薬剤科長）
*当薬生薬は含有しないが、重大な副作用(記載あり) 薬液薬行製品は、特
※1〇-〇、〇は重大な副作用(記載あり) ※2 添付文書参照 ※3 併用時注意

No	漢方処方名	寒	熱	虚	実	注意すべき副作用 ※1	注意すべき患者
19	小青龍湯 煎	寒	熱	虚	実	※3	
401	甘草湯	寒	熱	虚	実		
05	芍薬甘草附子湯	寒	熱	虚	実		

4 頁目

No	漢方処方名	寒	熱	虚	実	注意すべき副作用 ※1	注意すべき患者
19	小青龍湯 煎	寒	熱	虚	実	※3	
401	甘草湯	寒	熱	虚	実		
05	芍薬甘草附子湯	寒	熱	虚	実		

No	漢方処方名	寒	熱	虚	実	注意すべき副作用 ※1						注意すべき患者			
						① 偽アルドステロン症・ミオパチー ※3	② 腸間膜静脈硬化症	③ 間質性肺炎	④ 肝機能障害・黄疸	⑤ 薬疹	⑥ 心不全 ※2	① 循環器系疾患	② 小児・循環器系疾患	③ 胃腸虚弱	④ 妊婦等
19	小青龍湯 煎					3g	*	*	3g		3g				
19	小青龍湯 煎					3g		*	*	3g					
401	甘草湯					8g									
401	甘草湯					8g									
05	芍薬甘草附子湯					5g							1g		
05	芍薬甘草附子湯					5g							1g		

誤

正

誤

正

誤

正

治療薬ハンドブック 薬剤選択と処方のポイント

*No. は代表的な商品番号 (メーカー名なしは会社共通)
①-⑥は副作用(記載あり) 薬液薬行製品は、特
※1〇-〇、〇は重大な副作用(記載あり) ※2 添付文書参照 ※3 併用時注意

治療薬ハンドブック 2015 付録①

449 頁 アミノフィリン水和物

誤	アミノフィリン水和物 (aminophylline hydrate) 劇 (末のみ)
	ネオフィリン 適応, 用法・用量
正	アミノフィリン水和物 (aminophylline hydrate) TDM 劇 (末のみ)
	ネオフィリン 適応, 用法・用量

1536 頁 巻末付録「治療薬物モニタリング(TDM)」 テオフィリン製剤

誤				正			
一般名 (主な商品名)	一般的有効血中濃度域	定常状態到達時間	採血・測定時間 その他の留意点	一般名 (主な商品名)	一般的有効血中濃度域	定常状態到達時間	採血・測定時間 その他の留意点
テオフィリン製剤				テオフィリン製剤			
テオフィリン (テオドール, テオロング, スローピッド, アブネカット)	5~20 µg/mL	幼小児：1~2日 成人： ~2日 (非喫煙健常人) 約1日 (喫煙健常人) 高齢者：~3日 (非喫煙健常人) 延長傾向 ・肝硬変患者 ・急性肝炎患者 ・発熱時 ・高用量使用時 短縮傾向 ・甲状腺機能亢進患者	採血時期： 定常状態到達後 (経口) 採血時間： [経口] 治療効果判定 コンプライアンス確認 副作用判定 →朝服用直前 (最低血中濃度) [点滴] 点滴開始 4~6時間後 12~18時間後	テオフィリン (テオドール, テオロング, スローピッド, アブネカット) アミノフィリン (ネオフィリン, アブニション)	5~20 µg/mL	幼小児：1~2日 成人： ~2日 (非喫煙健常人) 約1日 (喫煙健常人) 高齢者：~3日 (非喫煙健常人) 延長傾向 ・肝硬変患者 ・急性肝炎患者 ・発熱時 ・高用量使用時 短縮傾向 ・甲状腺機能亢進患者	採血時期： 定常状態到達後 (経口) 採血時間： [経口] 治療効果判定 コンプライアンス確認 副作用判定 →朝服用直前 (最低血中濃度) [点滴] 点滴開始 4~6時間後 12~18時間後

1009 頁 ハラヴェン「処方 Point」

誤	処方Point ハーセプチンの併用は不可. サードラインとして他の薬剤に比較してOSで差が得られた. 骨髄抑制に注意
正	処方Point ハーセプチンの併用は不可. サードラインとして他の薬剤に比較してOSで差が得られた. 骨髄抑制に注意

1315 頁 「64 抗ウイルス薬」総説 表 2 抗ヘルペス薬

表 2 抗ヘルペス薬

薬剤名	剤形	主な適応	用量	
アシクロビル	顆粒(40%) 錠(200mg, 400mg) シロップ(8%) ドライシロップ (80%) ゼリー(200mg, 800mg)	带状疱疹(ゼリーはこれのみ)	(小児)80mg/kg/日, 1日4回, (成人)4g/日, 1日5回	
		単純疱疹	(小児)20mg/kg/日, 1日4回, (成人)1g/日, 1日5回	
		水痘(顆粒, シロップ, ドライシロップのみ)	(小児)80mg/kg/日, 1日4回	
		骨髄移植における単純疱疹の発症抑制	(成人)1g/日, 1日5回	
		注(125mg, 250mg)	免疫能の低下した患者に発症した単純疱疹, 水痘, 带状疱疹	15mg/kg/日, 1日3回, 7日間
			単純ヘルペスウイルス, 水痘・带状疱疹ウイルスによる脳炎・髄膜炎	30~60mg/kg/日, 1日3回, 投与期間延長可
	軟膏(5%) クリーム(5%)	単純疱疹	1日数回塗布	
	眼軟膏(3%)	単純ヘルペスウイルスに起因する角膜炎	1日5回塗布	
バラシクロビル	錠(500mg) 顆粒(50%)	带状疱疹	(成人)3g/日, 1日3回	
		単純疱疹	(成人)1g/日, 1日2回	
		性器ヘルペスの再発抑制	(成人)0.5g/日, 1日1回	
		水痘	(成人)3g/日, 1日3回, (顆粒のみ・小児)75mg/kg/日, 1日3回	
ファムシクロビル	錠(250mg)	単純疱疹	(成人)750mg/日, 1日3回	
		带状疱疹	(成人)750mg/日, 1日3回	
ピダラピン	注(300mg) 軟膏(3%) クリーム(3%)	単純ヘルペス脳炎	10~15mg/kg/日, 10日間	
		免疫抑制患者における带状疱疹	5~10mg/kg/日, 5日間	
		带状疱疹, 単純疱疹	1日1~4回塗布または貼布	
ガンシクロビル	注(500mg)	AIDS, 臓器移植, 悪性腫瘍における重篤なサイトメガロウイルス感染症(先天性もしくは新生児サイトメガロウイルス感染症は効能・効果とはしていない)	10mg/kg/日, 1日2回, 14日間	
バルガンシクロビル	錠(450mg)	AIDS, 臓器移植, 悪性腫瘍におけるサイトメガロウイルス網膜炎	(成人)1.8g/日, 1日2回, 21日間	
ホスカルネット	注(6g)	AIDSにおけるサイトメガロウイルス網膜炎, 造血幹細胞移植患者におけるサイトメガロウイルス血症およびサイトメガロウイルス感染症(先天性もしくは新生児サイトメガロウイルス感染症は効能・効果とはしていない)	180mg/kg/日, 1日2~3回, 2~3週間以上	

※添付文書記載内容外の情報を含む

正

表 2 抗ヘルペス薬

薬剤名	剤形	主な適応	用量	
アシクロビル	顆粒(40%) 錠(200mg, 400mg) シロップ(8%) ドライシロップ (80%) ゼリー(200mg, 800mg)	带状疱疹(ゼリー800mgはこれのみ)	(小児)80mg/kg/日, 1日4回, 1回最高用量は800mg, (成人)4g/日, 1日5回	
		単純疱疹	(小児)80mg/kg/日, 1日4回, 1回最高用量は200mg, (成人)1g/日, 1日5回	
		水痘(顆粒, シロップ, ドライシロップのみ)	(小児)80mg/kg/日, 1日4回, 1回最高用量は800mg	
		造血幹細胞移植における単純疱疹の発症抑制	(小児)80mg/kg/日, 1日4回, 1回最高用量は200mg, (成人)1g/日, 1日5回	
		注(125mg, 250mg)	免疫能の低下した患者に発症した単純疱疹, 水痘, 带状疱疹	15mg/kg/日, 1日3回, 7日間
			単純ヘルペスウイルス, 水痘・带状疱疹ウイルスによる脳炎・髄膜炎	(小児)15~60mg/kg/日, 1日3回, 投与期間延長可, (成人)15~30mg/kg/日, 1日3回, 投与期間延長可
	軟膏(5%) クリーム(5%)	単純疱疹	1日数回塗布	
	眼軟膏(3%)	単純ヘルペスウイルスに起因する角膜炎	1日5回塗布	
バラシクロビル	錠(500mg) 顆粒(50%)	带状疱疹	(成人)3g/日, 1日3回	
		単純疱疹	(成人)1g/日, 1日2回	
		性器ヘルペスの再発抑制	(成人)0.5g/日, 1日1回	
		水痘	(成人)3g/日, 1日3回, (顆粒のみ・小児)75mg/kg/日, 1日3回	
ファムシクロビル	錠(250mg)	単純疱疹	(成人)750mg/日, 1日3回	
		带状疱疹	(成人)1,500mg/日, 1日3回	
ピダラピン	注(300mg) 軟膏(3%) クリーム(3%)	単純ヘルペス脳炎	10~15mg/kg/日, 10日間	
		免疫抑制患者における带状疱疹	5~10mg/kg/日, 5日間	
		带状疱疹, 単純疱疹	1日1~4回塗布または貼付	
ガンシクロビル	注(500mg)	AIDS, 臓器移植, 悪性腫瘍における重篤なサイトメガロウイルス感染症(先天性もしくは新生児サイトメガロウイルス感染症は効能・効果とはしていない)	10mg/kg/日, 1日2回, 14日間	
バルガンシクロビル	錠(450mg)	AIDS, 臓器移植, 悪性腫瘍におけるサイトメガロウイルス網膜炎	(成人)1.8g/日, 1日2回, 21日間	
ホスカルネット	注(6g)	AIDSにおけるサイトメガロウイルス網膜炎	180mg/kg/日, 1日2~3回, 2~3週間以上	
		造血幹細胞移植患者におけるサイトメガロウイルス血症およびサイトメガロウイルス感染症(先天性もしくは新生児サイトメガロウイルス感染症は効能・効果とはしていない)	120mg/kg/日, 1日2回, 1~2週間以上	

※添付文書記載内容外の情報を含む

881 頁 プラザキサ

誤	ダビガトランエテキシラートメタンサルホン酸塩 (dabigatran etexilate methanesulfonate)
	プラザキサ 適応, 用法・用量
正	ダビガトランエテキシラートメタンサルホン酸塩 (dabigatran etexilate methanesulfonate) (H)
	プラザキサ 適応, 用法・用量

※ (H) は診療報酬における「特に安全管理が必要な医薬品」の対象薬効群に該当すると考えられる成分 (以下同様)

882 頁 エリキュース

誤	アピキサバン (apixaban)
	新 エリキュース 適応, 用法・用量
正	アピキサバン (apixaban) (H)
	新 エリキュース 適応, 用法・用量

882 頁 リクシアナ

誤	エドキサバントシル酸塩水和物 (edoxaban tosilate hydrate)
	リクシアナ 適応, 用法・用量
正	エドキサバントシル酸塩水和物 (edoxaban tosilate hydrate) (H)
	リクシアナ 適応, 用法・用量

883 頁 イグザレルト

誤	リバーロキサバン (rivaroxaban)
	イグザレルト <small>ミカド</small> 適応, 用法・用量
正	リバーロキサバン (rivaroxaban) (H)
	イグザレルト <small>ミカド</small> 適応, 用法・用量

895 頁 エフィエント

誤	プラスグレル塩酸塩 (prasugrel hydrochloride)
	新エフィエント <small>ミカド</small> 適応, 用法・用量
正	プラスグレル塩酸塩 (prasugrel hydrochloride) (H)
	新エフィエント <small>ミカド</small> 適応, 用法・用量

誤

正

ラモトリギン (lamotrigine) (劇) (TDM) (H) (X)

ラミクタール
(GSK)
25mg ¥102.3
100mg ¥273.8
【小児用】 2mg ¥17.1
5mg ¥32.7

適応, 用法・用量

① てんかん患者の部分発作 (二次性全般化発作を含む), 強直間代発作に対する単剤療法
⇒ 最初の2週間は1日1回25mg, 次の2週間は1日1回50mg, 5週目は1日100mgを1~2回に分服, その後1~2週間毎に1日最大100mgずつ漸増 (維持) 1日100~200mgを1~2回に分服 (増量) 1週間以上の間隔をあけ1日最大100mgずつ (1日最高) 400mg, いずれも1~2回に分服

② 他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作 (二次性全般化発作を含む), 強直間代発作, Lennox-Gastaut 症候群における全般発作に対する抗てんかん薬との併用療法
⇒ 【成人】 (1) バルプロ酸Naを併用する場合: 最初の2週間は1回25mgを隔日, 次の2週間は1日1回25mg, その後1~2週間毎に1日25~50mgずつ漸増 (維持) 1日100~200mgを2回に分服
(2) バルプロ酸Naを併用しない場合: (i) グルクロン酸抱合誘導薬*を併用: 最初の2週間は1日1回50mg, 次の2週間は1日100mgを2回に分服, その後1~2週間毎に1日最大100mgずつ漸増 (維持) 1日200~400mgを2回に分服
(ii) (i) 以外の抗てんかん薬**を併用: (1) 参照

【小児】 (1) バルプロ酸Naを併用する場合: 最初の2週間は1日1回0.15mg/kg, 次の2週間は1日1回0.3mg/kg, その後1~2週間毎に1日最大0.3mg/kgずつ漸増 (維持) バルプロ酸Naに加えてグルクロン酸抱合誘導薬*を併用する場合は1日1~5mg/kg, 併用していない場合は1日1~3mg/kgを2回に分服 (1日最高) 200mg
(2) バルプロ酸Naを併用しない場合: (i) グルクロン酸抱合誘導薬*を併用: 最初の2週間は1日0.6mg/kgを2回に分服, 次の2週間は1日1.2mg/kgを2回に分服, その後1~2週間毎に1日最大1.2mg/kgずつ漸増 (維持) 1日5~15mg/kgを2回に分服 (1日最高) 400mg
(ii) (i) 以外の抗てんかん薬**を併用: (1) 参照

③ 双極性障害における気分エピソードの再発・再燃抑制
⇒ (1) 単剤療法: 最初の2週間は1日1回25mg, 次の2週間は1日50mgを1~2回に分服, 5週目は1日100mgを1~2回に分服, 6週目以降は維持量として1日200mgを1~2回に分服 (増量) 1週間以上の間隔をあけ1日最大100mgずつ (1日最高) 400mg, いずれも1~2回に分服
(2) バルプロ酸Naを併用する場合: 最初の2週間は1回25mgを隔日, 次の2週間は1日1回25mg, 5週目は1日50mgを1~2回に分服, 6週目以降は維持量として1日100mgを1~2回に分服 (増量) 1週間以上の間隔をあけ1日最大50mgずつ (1日最高) 200mg, いずれも1~2回に分服
(3) バルプロ酸Naを併用しない場合: (i) グルクロン酸抱合誘導薬*を併用: 最初の2週間は1日1回50mg, 次の2週間は1日100mgを1~2回に分服, 5週目は1日200mg

ラモトリギン (lamotrigine) (劇) (TDM) (H) (X)

ラミクタール
(GSK)
25mg ¥102.3
100mg ¥273.8
【小児用】 2mg ¥17.1
5mg ¥32.7

適応, 用法・用量

① てんかん患者の部分発作 (二次性全般化発作を含む), 強直間代発作に対する単剤療法
⇒ 最初の2週間は1日1回25mg, 次の2週間は1日1回50mg, 5週目は1日100mgを1~2回に分服, その後1~2週間毎に1日最大100mgずつ漸増 (維持) 1日100~200mgを1~2回に分服 (増量) 1週間以上の間隔をあけ1日最大100mgずつ (1日最高) 400mg, いずれも1~2回に分服

② 他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作 (二次性全般化発作を含む), 強直間代発作, Lennox-Gastaut 症候群における全般発作に対する抗てんかん薬との併用療法
⇒ 【成人】 (1) バルプロ酸Naを併用する場合: 最初の2週間は1回25mgを隔日, 次の2週間は1日1回25mg, その後1~2週間毎に1日25~50mgずつ漸増 (維持) 1日100~200mgを2回に分服
(2) バルプロ酸Naを併用しない場合: (i) グルクロン酸抱合誘導薬*を併用: 最初の2週間は1日1回50mg, 次の2週間は1日100mgを2回に分服, その後1~2週間毎に1日最大100mgずつ漸増 (維持) 1日200~400mgを2回に分服
(ii) (i) 以外の抗てんかん薬**を併用: (1) 参照

【小児】 (1) バルプロ酸Naを併用する場合: 最初の2週間は1日1回0.15mg/kg, 次の2週間は1日1回0.3mg/kg, その後1~2週間毎に1日最大0.3mg/kgずつ漸増 (維持) バルプロ酸Naに加えてグルクロン酸抱合誘導薬*を併用する場合は1日1~5mg/kg, 併用していない場合は1日1~3mg/kgを2回に分服 (1日最高) 200mg
(2) バルプロ酸Naを併用しない場合: (i) グルクロン酸抱合誘導薬*を併用: 最初の2週間は1日0.6mg/kgを2回に分服, 次の2週間は1日1.2mg/kgを2回に分服, その後1~2週間毎に1日最大1.2mg/kgずつ漸増 (維持) 1日5~15mg/kgを2回に分服 (1日最高) 400mg
(ii) (i) 以外の抗てんかん薬**を併用: (1) 参照

③ 双極性障害における気分エピソードの再発・再燃抑制
⇒ (1) 単剤療法: 最初の2週間は1日1回25mg, 次の2週間は1日50mgを1~2回に分服, 5週目は1日100mgを1~2回に分服, 6週目以降は維持量として1日200mgを1~2回に分服 (増量) 1週間以上の間隔をあけ1日最大100mgずつ (1日最高) 400mg, いずれも1~2回に分服
(2) バルプロ酸Naを併用する場合: 最初の2週間は1回25mgを隔日, 次の2週間は1日1回25mg, 5週目は1日50mgを1~2回に分服, 6週目以降は維持量として1日100mgを1~2回に分服 (増量) 1週間以上の間隔をあけ1日最大50mgずつ (1日最高) 200mg, いずれも1~2回に分服
(3) バルプロ酸Naを併用しない場合: (i) グルクロン酸抱合誘導薬*を併用: 最初の2週間は1日1回50mg, 次の2週間は1日100mgを2回に分服, 5週目は1日200mg

トリアジン系

トリアジン系